

花と緑のまちづくり

今月から『花と緑』を通して地域づくりを行っている方や地域の情報を紹介します。連載のトップバッターは、「八宮地区環境資源保全会」の皆さんです。

※「この場所の花はきれい」「こんな活動をしている人がいるよ」など、皆さんからの情報をお待ちしています。

企画情報課 企画係 ☎22-1324 FAX22-1451 kikaku@city.shiroishi.miyagi.jp
http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/kikaku/



1_休耕田を耕しヒマワリを栽培。一面に見事な花が咲いた 2_ハス田に、楽しそうにEM菌のボールを投げ込む子どもたち

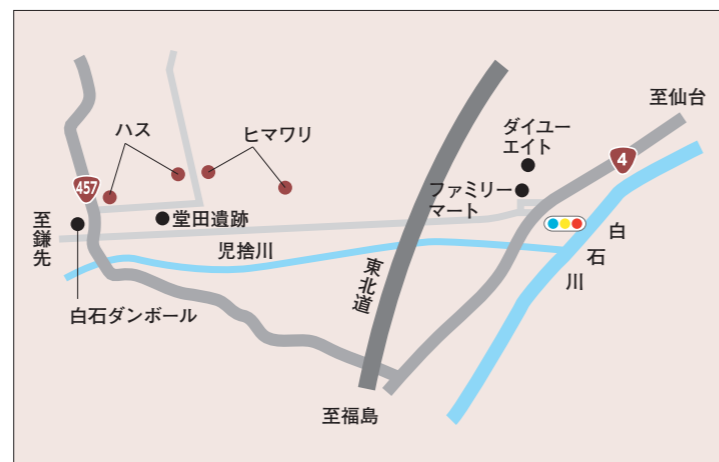
「八宮の里」という花文字を描いたり、シバザクラを植えたりしたいと考えています。この活動を通して、みんながわいわい話をしたりしながら、コミュニケーションを深めていくことが、地域の元氣やいざという時の助け合いにもつながるのではないかと思います。

「八宮地区環境資源保全会」は、八宮・芹沢・大綱・弥治郎の4自治会で構成されています。同会は、平成19年の農林水産省の事業がきっかけで発足。休耕田を活用し、ヒマワリやハスを栽培するほか、芝草を植えたり、芹沢集会所や八宮分校のそばに花壇を作ったりする活動を行っています。大野邦道事務局長に、花づくりに取り組んでからの感想などを伺いました。世代を問わず地域全体で取り組めるよう、それぞれができる作業と仕組みを会のメンバーと一緒に考えて取り組んできました。ヒマワリの種まきやハス田へのメダカの放流、EM菌の投入を子どもたちに手伝ってもらったところ、田んぼではしゃいでいたのが印象に残っています。

しろいし爛漫

＊花と緑 MAP ＊

—八宮地区環境資源保全会—



- ハスの見ごろは8月上旬～下旬です。
- ヒマワリの開花時期は、天候などで年によって変わります。見ごろはホームページでお知らせします。

「小さな声、小さなアイデアをまちづくりに」白石のまちづくりを一緒に考えてみませんか。

1. 事業の企画をしてみたい方

「アイデアを形にしたい!」という方を募集します。これからの事業計画を企画・立案・実践する会のメンバーになってみませんか?

2. 企画や活動は難しいけれどアイデアや情報をお持ちの方

次のアイデアや情報をお寄せください。お寄せいただいたアイデアなどは会で検討していきます。

- ①「花と緑」を素材に、「まちや地域がこうなったらいいな」というアイデア
- ②「この場所のコスモスがきれいだよ!」といった、花や緑のスポットやそれが見られる時期など

●応募締切 4月30日(水)

●応募方法 企画情報課までご連絡ください(電話・FAX・メール可)。

無敵艦隊!? 「大笑い」 5連覇を達成!

ひいてひかれて第23回市民綱引き大会



1_小学生の部で優勝した「深谷小ゆかいな子どもたち」 2_大きな掛け声で優勝を引き寄せ、5連覇を達成した「大笑い」 3_選手宣誓をする佐藤茉莉衣さんと佐藤碧馬くん(右から) 4・5_試合後、互いの健闘を称えてハイタッチ! 6_中学生の部で優勝した「福中B&S B」

2月8日、「ひいてひかれて第23回市民綱引き大会」をホワイトキューブで開催しました。この大会は、運動が控えがちになる冬場の体力づくりと、クラスやチームメイト、同僚などの仲間との親睦を図ることを目的に開催。本年は、小学生の部25チーム、中学生の部16チーム、一般の部10チームの計51チーム約590人が参加しました。小学生は10人1組、中学生・一般は8人1組で試合を行い、熱戦を繰り広げました。

大会は、白二小5年佐藤茉莉衣さんと同小5年佐藤碧馬くんの選手宣誓でスタート。1チーム2試合を戦う予選リーグを突破した4チームが決勝トーナメントに進みました。小学生の部では、決勝トーナメントに進んだ白一小の3チームを抑え、「深谷小ゆかいな子どもたち」が優勝。中学生の部では、2チームに分かれて出場した「福中B&S」が優勝と準優勝を独占、一般の部では、4連覇中の「大笑い」が安定した試合運びで5連覇を達成しました。

大会結果

- 小学生の部
第1位福岡小ゆかいな子どもたち
第2位白一小B
第3位白一小A
- 中学生の部
第1位福中B&S B
第2位福中B&S A
第3位カッパ隊(白石中)
- 一般の部
第1位大笑い
第2位二小パワーアップ
第3位白石三省塾柔道スポーツ少年団

元気な声で「火の用心」!

越河保育園児が火災予防を呼び掛け

3月4日、春の火災予防週間(3月1日～7日)に合わせて、越河保育園の園児18人が「火の用心」を呼び掛けました。

出発式で園児たちは、「絶対に火遊びはしません」「お父さん、お母さん、先生の教えを守ります」「礼儀正しく素直な子どもになります」と「防火の誓い」を大きな声で発表。防火服や法被を身にまとった子どもたちは、子ども纏を持つ園児を先頭に、拍子木を鳴らしながら「火の用心!」と元気な声で地域を巡回しました。

園児たちの呼び掛けを聞いた地域の皆さんは、園児たちに声を掛けながら気を引き締めていました。

